

文学部 人間関係学科
小論文

【注 意】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は13時00分から15時00分まで(120分間)です。
3. この問題冊子は表紙以外に4ページあり、解答用紙は2枚あります。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答はすべて解答用紙の解答欄に記入してください。
6. 解答用紙の氏名欄を除き、受験者本人の特定につながるような氏名、住所、学校名等は記述しないでください。
7. 解答用紙を持ち出してはいけません。持ち出した場合、試験をすべて無効とします。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

次の課題文を読んで設問に答えなさい。

① われわれは猿ではなく、鳥の子孫かもしれない。 そんな他愛もない空想にふけることがある。ヒトはわれわれに特有なものを探し続けてきた。特に他の種よりも優れた特性を目を皿のようにして探してきた。そして、われわれと他の種、特に親戚とも言うべき霊長類と区別する様々な特性が提案されてきたのだ。このような特性は驚くことにわれわれの羽の生えた友人、すなわち鳥類にも多く存在する。 Like us, birds get around on two legs rather than four, at least when they're not flying (and some of them can't). Parrots¹, at least, have a consistent preference for picking things up with one foot, although in a mocking reversal² of human handedness³ most of them prefer to use the left foot (most humans are right-handed and right-footed). Some birds prudently⁴ store food for the winter, and there is evidence that some of them can remember not only where they store food but also when they stored it, suggesting a kind of memory—known as episodic memory⁵—that has been claimed as unique to our own species. Birds make tools. They fly, albeit⁶ without purchasing airline tickets. They sing. And some of them talk.

おそらく、最後のポイントが一番おもしろい。さまざまな音声をフレキシブルに発声する点において、多くの鳥類は、ほ乳類よりはるかに優れている。われわれに直近の霊長類の祖先を含めても、はるかに優れているだろう。ここに多くのひとは人間の発話との驚くべき類似性を見る（あるいは聞く）だろう。鳴き鳥、つまり歌う鳥の発声はとても複雑で、人間の発話同様、主に脳の左側で制御されている。鳥の歌はおおむね本能によるものだが、それでも鳥のなかには方言を学んだり、任意の音の系列を学習できるものすらいる。鳥がある特定の歌を学習するためには、小さい頃からその歌を聴いていなくてはならない。実際に歌い出すのがはるかにあとも、巣立ちの前

¹ parrot オウム

² a mocking reversal おかしな逆転

³ handedness 利き手

⁴ prudently 慎重に

⁵ episodic memory エピソード記憶

⁶ albeit ～にも関わらず

からそれを聴かなければならないのだ。このような決定的な影響を及ぼす期間を「臨界期」と呼ぶ。人間の発話の学習も同じように臨界期があるようだ。つまり、子供の頃に適切に話し言葉にふれないとそれを獲得することは不可能なのである。そのせいもあって成長してから学んだ第二外国語（例えば、日本人にとっての英語）は聞けばすぐ分かるひどい発音でしか話せない。オウムのように、発声能力においてヒトをはるかにしのぐ鳥もいる。これはただの模倣に限ったことではない。オーストラリアのコトドリはビールの缶をあける音を完璧に模倣することができる。ちなみにこの音は、オーストラリアでもっともよく耳にする音である。

② But of course birdsong differs in lots of ways from human speech. The ability of birds to imitate sounds probably has to do with the recognition of kin⁷ and the establishment and maintenance of territory but has nothing to do with conversation. Birds sing characteristic songs for much the same reason that nations of people fly characteristic flags or play national anthems⁸. The remarkable ability of species like the mockingbird⁹ to imitate the songs of other birds has no doubt evolved also as a deceptive¹⁰ device to give the illusion of a territory filled with other birds, so that they may occupy that territory for themselves.

鳥の発声にはほとんどの場合感情が込められており、怒りの感情を伝えたり、危険を警告したり、性的魅力をアピールしたり、社会的な階層を作ったり維持したりするのに使われる。われわれの発声行動にもよく似た、おおむね感情的な目的がある。われわれは笑い、泣き、悲鳴を上げ、不満を言い、怒り、警告のために大声を上げる。これらはコミュニケーションとして重要な手段であるが、私がこれから説明するように「言語」ではない。

In any event, it would of course be irresponsible¹¹ of me to claim any real

⁷ kin 血縁

⁸ national anthem 国歌

⁹ mockingbird マネシツグミ

¹⁰ deceptive 欺くような

¹¹ irresponsible 無責任な

kinship¹² between humans and birds. There is a remote sense in which we are related to them, but to find the common ancestor of birds and humans we would have to go back some 250 million years (and it couldn't fly), while the common ancestor of ourselves and the chimpanzees¹³ existed a mere 5 or 6 million years ago. I am therefore compelled¹⁴ to adopt the more conventional, down-to-earth¹⁵ view that our descent¹⁶ was not from the creatures of the sky but from the more restricted arboreal¹⁷ heights of our primate¹⁸ forebears¹⁹. Those seductive²⁰ parallels between characteristics we fondly²¹ imagine to be unique to ourselves and their taunting counterparts²² in birds are most likely the results of what is known as convergent evolution²³ — independent adaptations to common environmental challenges—rather than features that were handed down from that 250-million-year-old common ancestor. ③だが、私たちが鳥、そしてほかの動物たちと分け隔てる一つの特徴があるとすれば、それはわれわれが言語と呼ぶ特別な能力だ。

(Adapted from Michael C. Corballis, *From hand to mouth: the origins of language*.)

(マイケル・コーバリス『言葉は身振りから進化した』による。ただし、出題に際して原文の一部を改めた。)

12 kinship 血縁関係

13 chimpanzee チンパンジー

14 compel 強いる

15 down-to-earth 地に足の着いた、現実的な

16 descent 家系、血統

17 arboreal 樹木の

18 primate 霊長類

19 forebear 先祖

20 seductive 魅力的な

21 fondly 好んで

22 taunting counterpart 挑発的な類似

23 convergent evolution 収束進化

問1 下線部①について、ヒトと鳥はどのような点で似ているのか、また、その類似性はなぜ生じたのか。筆者の見解を説明しなさい。(50点)

問2 下線部②を和訳しなさい。(30点)

問3 下線部③について、ヒトの言語はどのような点で特別なのか。さらには、会話や文字を含め、言語は社会や人間関係を構築するうえでどのような働きを担っているのか。あなたの意見を800字以内で述べなさい。(120点)